

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまちづくり
施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
主管課名	健康センター		
関係課名	市民課、社会福祉課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で安心して医療が受けられる体制になっています。 ・症状に応じた医療を受けられる救急体制が整っています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・症状に応じて適正な医療受診に努めます。 ・身近な地域でかかりつけ医を持ちます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が安心して医療が受けられるように医療機関と連携を強化し、救急医療や在宅医療など地域医療体制を支援します。 ・広報やホームページにより、救急医療機関情報を提供します。
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関相互の連携による効率的な医療を提供します。 ・住み慣れた地域で療養生活ができるよう医療サービスを提供します。

市民意識調査結果	<p>< 施策満足度調査結果 > ※27年度は「実感度」</p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.072</td> <td>0.048</td> <td>0.133</td> <td>0.112</td> <td>0.327</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.072	0.048	0.133	0.112	0.327	
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
0.072	0.048	0.133	0.112	0.327								
<p>< 施策重要度調査結果 ></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.954</td> <td>1.007</td> <td>0.918</td> <td>1.109</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.954	1.007	0.918	1.109			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度								
0.954	1.007	0.918	1.109									

施策のトータルコスト	区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	83,038	76,513	79,499	
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	76,764	76,459	79,367	
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	6,274	54	133	
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	5	3	4	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	1,100	280	500	
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	4,839	1,174	2,191	
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	87,877	77,687	81,690	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の	円	—	—	1,874	1,738	1,825	
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)							
	同上	円	—	—	109	27	50	
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)							
同上	円	—	—	1,983	1,764	1,876		
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)								
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	

基本事業概要シート①

施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
基本事業名①		救急医療体制の充実	
基本事業①の目的(意図)		救急患者が安心して医療が受けられます。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【一次救急体制支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市医師会へ「在宅当番医制運営事業」を委託し、休日祭日の救急医療を継続実施しました。 ・富山労災病院内の初期急患センターの設置運営について、労災病院と魚津市医師会と市で協議を重ね、三者で「魚津市急患センター設置運営に係る協定」を締結し、「魚津市急患センター運営協議会」を発足させました。(急患センターの診療開始日は、平成28年4月1日) <p>【地域中核病院支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内唯一の総合病院であり「地域がん診療連携病院」である富山労災病院に対して、PETやリニアック機器を有償貸与していましたが、身近な地域でがんの早期発見・早期治療が実施できる体制を支援するために、これらの機器を無償譲渡としました。 ・市内唯一の総合病院である富山労災病院に対し、「地域がん診療拠点病院」としての対応が充実するとともに、心疾患や脳血管疾患への速やかな治療など、市民が安心して受けられる地域医療の充実を図るため、高度医療機器の整備支援として、新たに機器の調達を行いました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
救急医療体制に満足している市民の割合	%	—	—	40.0	43.0	46.0	48.0	50.0	60.0
			—	40.3	43.6	42.6	43.0	42.3	

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 一次救急体制支援事業	2,045,000	2,016,027	28,973	A	健康センター
2	一般会計	◎ 地域中核病院支援事業	75,240,000	75,239,084	916	A	健康センター
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			77,285,000	77,255,111	29,889		

基本事業概要シート②

施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
基本事業名②	在宅医療の推進		
基本事業②の目的(意図)	市民が身近な地域で安心して医療が受けることができます。		
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【在宅医療・介護連携推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携をテーマに、新川地域医療在宅支援センターと共催で、住民を対象とした市民公開講座を開催しました。併せて、在宅医による講座を地区で開催するなど普及啓発に努めました。 ・市内の医療・介護関係者を一堂に会し、魚津市の医療・介護の在り方についてグループワークを開催しました。 		

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
在宅医療利用者数 (※把握可能な相談者数を計上)	人	29	30	35	40	45	50	50	150
			45	40	178	126	267	150	
訪問歯科診療利用者数	人	78	80	85	90	95	100	100	150
			37	106	147	130	117	86	
在宅の介護保険サービス利用割合(10月) (在宅サービス利用者/要介護認定者)	%								
			59.8	62.1	64.3	65.3	66.7	66.1	

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	在宅医療・介護連携推進事業	400,000	158,243	241,757	-	社会福祉課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			400,000	158,243	241,757		

施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
27年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①救急医療体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆救急医療体制に満足している市民の割合は、42.3%とほぼ横ばい状態であり、目標値より低い状態です。 ◆市内では、休日祭日の日中について初期救急診療体制は整備されているものの、夜間の初期救急は黒部市民病院内の小児急患センターしかありません。 <p>【②在宅医療の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆急性期や回復期の医療機関や在宅における医療・介護サービスの連携が推進されたことで、在宅で療養されている高齢者が増加している傾向にあります。 ◆訪問歯科診療利用者数は、医師や歯科医師等の連携やケアマネージャーにより周知され一定の利用がみられます。 ◆本市には、在宅医療の構築を目指して、在宅医療に関心のある医師を含めた多職種スタッフの集まりである「メディカルネット蜷気楼」があり、市と共催により市民公開講座や研修会を開催しています。また、新川医療圏域には、県からの補助で設立した「新川在宅医療支援センター」があり、在宅医療の推進に関する活動を行っています。 ◆医療や介護を活用しながら、在宅で生活できることの周知が不足していると考えられます。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (27年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①救急医療体制の充実】</p> <p><一次救急体制支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆富山労災病院内において初期急患センターの整備が決定し、運営費の試算について病院と協議しました。 ◆名称を「魚津市急患センター」とし、平成28年4月1日の開設予定となりました。 <p>【②在宅医療の推進】</p> <p><在宅医療・介護連携推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆在宅医療をテーマとした市民公開講座や地区公民館で在宅医による講座を実施し、普及啓発を行いました。また、医療や介護に従事する職員に対して、在宅を意識したサービス提供に向けた研修を行い、職員の意識向上を図りました。 ◆在宅医療・介護に関わる関係職種による、顔の見える関係の構築を目的とした研修会を、看護協会やメディカルネット蜷気楼との共催で開催しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①救急医療体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆富山労災病院内で開設される「魚津市急患センター」の運営体制等について、11月からの新病院での実施に向けて、魚津市医師会・富山労災病院と継続した協議が必要です。併せて、市医師会が実施している「在宅当番医制運営事業」についても継続した協議が必要です。 ◆市内唯一の総合病院である富山労災病院に、地域がん診療連携拠点病院としての役割や急性期・救急医療への対応が期待されます。新規オープンするにあたり、地域医療の充実と市民がより利用しやすい病院となるために、新たな高度医療機器の貸与等を予定しています。 <p>【②在宅医療の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆関係機関と連携を図りながら、在宅での医療・介護を推進するための普及啓発が重要となります。また、市民に分かりやすい内容が求められます。 ◆在宅医療のみならず、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。 			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	<p>◆市における救急体制の充実を図るため、富山労災病院内に開設される「魚津市急患センター」の運営体制について、魚津市医師会及び富山労災病院との協議を行い、実施日時及び委託費について整理を行うこと。併せて、魚津市医師会より要望のある、同医師会が実施する在宅当番医制(休日の日中)の継続について協議を行うこと。</p> <p>◆住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指して、住民への普及啓発を含めて、在宅医療の推進に関する取り組みを行うこと。</p>
---	---

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	<p>◆「魚津市急患センター」の適切な運営を行い、救急医療体制の充実を図ります。</p> <p>◆住民への普及啓発を含めて、安心して在宅医療が継続できる体制を構築します。</p>
---------------------------------	---

28年度開始 の第10次基 本計画におけ る対応施策	施策No.	施策名	基本事業①	救急医療体制の充実
	23	地域医療体制の充実	基本事業②	在宅医療の推進
			基本事業③	
			基本事業④	
第9次基本計 画からの変更 点	施策No.繰上げあり。			